

2021 年度 2 学期終業式あいさつ（放送）

制服を着用することの意味について

校長 皆川 勝

1 年の締めくくりである 2 学期の終業式にあたって、学校の生徒が制服を着用することの意味についてお話をいたします。高校 3 年生にとっては間もなくお役御免となる制服ですが、お付き合いください。制服着用の意義は、学校の組織の一員としての自覚を持つこと、連帯感・規律心を醸成することが挙げられます。また、他の学校の生徒と区別することも挙げられます。学校教育を受けられる人の割合が少なかった昔は制服によってエリートとして識別されました。一方、学校における制服には、貧富の差なく、同じ場所で同じものを多くの人が学んでいることの象徴としての意義も持っています。華美な服装による非行を防止する効果、服装を競う金銭的・感情的な負担を軽減する効果もあると思います。

このように、いろいろな意義や効果が学校の制服にはあります。私服で通学する学校もありますし、学校の区別がしにくい一般的な制服を採用している学校もあります。それぞれが、学校としての基本的な方針によって定めていると思いますが、「他の学校の生徒と区別すること」という意味から、生徒の皆さんにどのような意識が求められているのでしょうか。

制服着用は入学時のいわば約束事です。校内で着用していることの意味は、「連帯感・規律心・私服による負担軽減」などの意味であると考えますが、校外での着用は、「他の学校の生徒と区別すること」の意義が最も重要だと思います。生徒の皆さんは、通学時に制服を着用することで、本校の生徒であるという個人情報から自ら開示しており、そのことにより、学校という組織の一員として公共の場に存在していることとなります。したがって、生徒の皆さんの制服の着用の在り様は、学校の在り様を映し出していることとなります。

ルールから逸脱した、あるいは乱れた制服着用は、個人としてのお洒落という意味合いは些末なことでも、そのことにより学校の在り様の乱れとして公に認識されます。また、制服を着用して社会的な規範を逸脱した行為は、学校組織の一員としての無責任な行為となり、自分ばかりでなく他の生徒や教職員の名誉をも傷つける行為となります。このことは、皆さんが制服着用をルールとして持つ本校に、自らの意思で入学したことに伴う責任です。自宅を出てから、学校が終了して自宅に戻るまでが生徒の皆さんの学校生活なのです。制服以外のどのような服装であれ、公共の場での行動は、私たちの社会が受け

入れている共通の規範に沿っていなければなりません。特に制服を着用している通学時には、さらに学校という組織の一員であるという自覚と責任を忘れないでいただきたいと強くお願いをします。

本校の校訓には、自主と遵法があります。自主は自律につながります。すなわち、自らを律すること、自分の考えで法（ルール）を遵守することを校訓は述べています。反対の概念は他律です。他者から強制されることです。制服着用ルールや着用時の行動規制についても、怒られたくないからと他律的になるのではなく、自律的に実践されることを願います。バスのなかでの態度、公道での特に多人数での歩き方などについて学校へ指導を要請する苦情が時々あると聞いています。先生のご指導に待つまでもなく、不適切な態度に対しては、生徒同士で注意し合うことも、自立・自主という校訓に立てば、必要なことではないでしょうか。

ビクトール・フランクルは、「どのような状況になろうとも、人間にはひとつだけ自由が残されている。それはどう行動するかという選択の自由だ。」と言っています。また、「ひとりひとりの人間が唯一の存在であることに価値があるのは、人間の共同体という上位におかれた全体に関与することによってです。」とも述べています。ぜひ、皆さんひとりひとりが、自分の自由な意思によって適切な行動を選択することにより、「人間の共同体という上位におかれた全体」である学校や社会をよりよくして行こうではありませんか。

2021年という年は、私たち自身を含むすべての人にとって、人生で一度だけの1年です。1年の終わりにあたって、この人生でただ一度の2021年という年を自分自身がどのように過ごしたかを顧みてはいかがでしょうか。また、間もなく訪れる2022年という年もまた、人生で一度だけの1年となります。高校3年生はこの中高の6年間でもっとも重要な結果を出す年となりますが、試験本番で焦らないよう、周到な用意をされつつあることと思います。他の学年の生徒の皆さんも含めて、そして私や先生方ひとりひとりにとっても、人生で二度と訪れることのない1年です。来年の年末に大きな後悔が残らないよう、有意義な一年だったと思えるようにしたいものです。この世界の中で唯一無二の我々自身が、それぞれの人生のなかで唯一無二の今という時を大切にしたいものだと思います。

それでは、少しばかりの休息をとり、それぞれの目標を再確認するための、善きお正月を迎えてください。

以 上